

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 5月 9日

事業所名 オールケア大日(重心)

保護者等数(児童数) 1名

回収数 1

割合 100%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100%	0%	0%	0%		日々、スペースの工夫をしながら行っている。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	100%	0%	0%	0%		スタッフが1人1人の専門性を強化に努めている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	0%	0%		問題となる環境はない、日々工夫をしながら行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	0%		日々過ごしやすい環境作りに努めています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%		保護者様との連携は密にとり、より良い支援ができるように考え計画を作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%	0%		保護者様との連携は密にとり、より良い支援ができるように考え計画を作成しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	0%		個々とする支援を明確に貼り出し行っている。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	100%	0%	0%	0%		同じ内容にならないように保育士会議を毎月行っています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	0%	0%	100%		イベントごとをする際は交流ができるようにお知らせと配布している。
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%	0%	0%	0%		今後も積極的に行っていく。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100%	0%	0%	0%		引き続き、丁寧に説明を行っていく。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	100%	0%	0%	0%		助言等は行っているがプログラムとしては行っていない。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		家族様と話す時には、用件だけではなく様子等の話をよくしている。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	100%	0%	0%	0%		お聞きした内容はきちんと返事をしている。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	0%	100%	0%	0%		イベント後に開催を行っていただけるように努める。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	100%	0%	0%	0%		迅速な対応にいつも心掛けている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%		連絡帳に具体的に記入し連携を図っていく。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	100%	0%	0%	0%		引き続き発信していく。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	100%	0%	0%	0%		今後も意識し対応していく
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	100%	0%	0%	0%		お知らせを配布しお伝えしたりとしている。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	100%	0%	0%	0%		今後も続けていく
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%		もっともっと楽しい事業所を目指して、スタッフの質をあげていく。
	23	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%		良い支援を行っていただけるように家族様との連携を図りながら行っていく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年5月9日

事業所名 オールケア大日(重心外) 保護者等数(児童数) 5 回収数 4 割合 80%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100%	0%	0%	0%		身体を動かせるスペースと、ゆっくり過ごせるスペースを確保しています
	2 職員の配置数や専門性は適切である	75%	0%	0%	25%		・配置数は十分に確保しています ・保育士が多数在籍、全スタッフで支援の在り方を共有・実践しています
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	0%	0%		写真や絵カードを使って、視覚支援を進めています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	0%		掃除、整理整頓、環境構成を日々考え、実践しています
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	75%	25%	0%	0%		今後は、さらに丁寧に聞き取りを行い、支援計画を立てていきます
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	75%	25%	0%	0%		・ガイドラインに沿って支援内容を設定しています ・面談を通して、より丁寧な説明を行い保護者の理解に努めます
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	0%		支援計画に沿って行っています
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	75%	25%	0%	0%		月案を立てて活動予定を組んでいますが、様々な経験ができるようスタッフ間で検討・共有・実践します
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	50%	0%	25%	25%		・令和6年度4月からは、利用児童は幼稚園や保育園に通園 ・デイでは異年齢児との交流の機会を設けています
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%	0%	0%	0%		初回面談時に丁寧に説明しています
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100%	0%	0%	0%		面談時に説明しています
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	75%	25%	0%	0%		面談時、支援についてより丁寧な説明を行い、家庭と事業所がさらなる連携を図れるよう努めます
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		連絡帳や送迎時にその日の様子を伝えています
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	75%	25%	0%	0%		・定期的に面談を行っていきます ・電話でも随時相談を受けつけています
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	50%	0%	25%	25%		・保護者参加型の行事の際には、保護者同士ゆっくり関わられる時間を設けています ・今後も、保護者同士が関わりを持てる行事を企画・開催していきます

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	100%	0%	0%	0%		迅速かつ適切に対応するよう徹底しています
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%		連絡帳や送迎時の申し送りを丁寧に 行っています
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	100%	0%	0%	0%		・毎月おたよりを発行していきます ・SNSも活用し、引き続き積極的に 発信していきます
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	100%	0%	0%	0%		個人情報鍵付きの書棚にて保管 しています
非常 時等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	75%	0%	0%	25%		ご安心ください ・各種マニュアルを作成しています ・会議や研修等でスタッフに周知 しています
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	75%	0%	0%	25%		・毎月、避難訓練を行っています ・今後も1人ひとり最適な非難の仕方を 考え、訓練していきます
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%	毎日「今日、オールケア？」と 聞いて、行くことを楽しみに しています	・異年齢の友だちや、たくさんのス タッフとの関わりを大切に しています ・様々な経験ができるよう、活動 や行事等を充実させて いきます
	23	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%	・行ってよかったと心から思 います。できること、言葉が 増えてきています。 ・とても満足しています。 いつもありがとうございます。	・1人ひとり丁寧な言葉かけ、 関わりを実践しています ・支援計画に沿って、スタッフ全 員が適切な支援を行います

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 5月 9日

事業所名 オールケア大日(重心)

保護者等数(児童数)22名

回収数 19名

割合 86%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	89%	5%	0%	5%	判断資料なし	来所される児童が変わるので、安全に過ごせるように前日にスタッフ間で話し合っている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	84%	5%	0%	11%	判断資料なし	計画を立てて他部署からの応援を要請して協力してもらっている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	95%	5%	0%	0%		その日その日に過ごすスペースを考えて行っている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	95%	0%	0%	5%	客観的かどうか判断できない	担当者会議、面談を行った後に評価を行い計画につなげている。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%	0%		同じ内容にならないように保育士会議を毎月行っています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	26%	21%	16%	37%	判断資料なし	イベントごとをする際は交流ができるようにお知らせを配布している。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	89%	5%	0%	5%		今後も積極的に行っていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	89%	5%	0%	5%		家族様と話す時には、用件だけではなく様子等の話をよくしている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	89%	5%	0%	5%		お聞きした内容はきちんと返事をしている。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	26%	16%	16%	42%	情報なし	イベント後に開催を行っていくように努める。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	79%	5%	0%	16%	対応状況不明	迅速な対応にいつも心掛けている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	79%	16%	0%	5%		連絡帳に具体的に記入し連携を図っていく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	0%		引き続き発信していく。
14 個人情報に十分注意しているか	95%	0%	0%	5%	判断資料なし	今後も意識し対応していく	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	89%	0%	0%	11%	判断資料なし	お知らせを配布しお伝えしたりしている。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	89%	0%	0%	11%		今後も続けていく
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	84%	0%	0%	16%	意思表示できないが通信や写真で判断 いつもありがとうございます。	もっともっと楽しい事業所を目指して、スタッフの質をあげていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	95%	5%	0%	0%	大日大好き。 土曜日の昼食、お弁当再開してほしいです。	良い支援を行っていくように家族様との連携を図りながら行っていく。 土曜日のお弁当再開できるよう提案してみる。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年5月9日

事業所名 オールケア大日(重心外) 保護者等数(児童数) 40 回収数 31 割合 77%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	87%	3%	0%	10%		身体を動かすスペース、ゆとり過ぎずスペース、勉強するスペースを確保しています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	74%	3%	0%	23%		・配置数は十分に確保しています ・保育士や児童指導員が多数在籍、全スタッフで支援の在り方を共有・実践しています
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	94%	0%	0%	6%		・つい立てボードで個人環境を作ったり、スケジュールを視覚化しています ・段差がない
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	84%	3%	0%	13%	行く回数が少ないのでわからない	今後は、さらに丁寧に聞き取りを行い、支援計画を立てていきます
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	81%	3%	0%	16%	行く回数が少ないのでわからない	月案を立てて活動予定を組んでいますが、様々な経験ができるようスタッフ間で検討・共有・実践しています
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10%	13%	23%	55%	行く回数が少ないのでわからない	土日や長期休暇時、関わりを持つ機会が設けられるよう検討していきます
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	94%	3%	0%	3%		面談時に説明しています 引き続き行っていきます
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	90%	6%	0%	3%		連絡帳や送迎時の申し送りの際、児童の様子を丁寧に伝え共有しています
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	84%	10%	0%	6%	面談したことがない	定期的に面談を行っています
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13%	16%	13%	58%	行く回数が少ないのでわからない	保護者同士が関わりを持てる行事を企画・開催していきます
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	68%	3%	0%	29%	苦情ではないが、伝えたことの意味を理解していないと感じたことがある	保護者との会話の内容は必ず情報共有しています 引き続き迅速かつ適切・的確な対応を行っていきます
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	87%	3%	0%	10%		連絡帳や送迎時の申し送りを丁寧にしています
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	77%	6%	0%	16%		・毎月のおたよりを発行していきます ・SNS等も活用し、引き続き積極的に発信していきます
14 個人情報に十分注意しているか	84%	3%	0%	13%		守秘義務を遵守します また、個人情報は鍵付きの書棚にて保管しています	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	81%	6%	0%	13%		各マニュアルを作成し、周知・説明、災害時を想定しての訓練を行っています
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	87%	0%	0%	13%		災害・避難訓練計画書を作成し、定期的に訓練を行っています
満	17 子どもは通所を楽しみにしているか	84%	10%	3%	3%	・楽しかったと帰ってきますが、時間が長いとも言っています ・家で迎える者がいないので、行かなければいけないと思っています	様々な経験ができ、楽しんで参加できるよう、活動や行事を計画的に作成、実践していきます

満足度	18	事業所の支援に満足しているか	94%	6%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日もお弁当を注文したい</li> <li>・ショートステイしてほしい</li> <li>・下校から家族帰宅までの時間、安全に過ごさせてもらっていること、とても助かっています</li> <li>・通えていないのでわからない</li> </ul>	ご期待に添えるよう、今後も検討・試行していきます
-----	----	----------------	-----	----	----	----	---	--------------------------

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 9日

事業所名 オールケア大日(重心)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	その日その日でスペースを考えている。	来所される児童が変わるので、安全に過ごせるように前日にスタッフ間で話し合っている。
	2	職員の配置数は適切である	92%	8%	スタッフが足りない時には、他部署からの応援あり。	計画を立てて他部署からの応援を要請して協力してもらっている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	個人の荷物の棚にそれぞれの顔写真を貼るなど所有が明確化している。	その日その日に過ごすスペースを考えて行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	適宜清掃、整理整頓を行っている。	必ず利用児様が帰宅後に掃除・整理整頓は行っている。おもちゃの使用後も消毒を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	定期的に担当者会議を実施。	方針書を配布。ホール内貼りだし、アンケートで振り返りを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	92%	8%	保護者様の意見等改善できるように話し合っている。	検討をし家族様に返事等返していけるようにする。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HPで公開している	HPで公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	45%	55%	事業所内での業務改善を行っている。	内部監査を行い業務改善につなげている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	93%	7%	全体会議等にて研修を行っている。	内部研修・外部研修の機会を増やし参加している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	モニタリング、面談で保護者のニーズを把握している。	担当者会議、面談を行った後に評価を行い計画につなげている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	85%	15%	アセスメントと見える化を作成している。	アセスメントと見える化を使用しすぐ見てわかりやすくしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	91%	9%	個別支援計画にてそれぞれの項目で立案している。	把握しより良い支援に努めている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	目標を貼りだして、確認ができるようにしている。	個々でする支援を明確に貼り出し行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	保育士を中心に立案している。保育士会議を月1行っている。	保育士会議を毎月行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	保育士会議を月1行っている。	同じ内容にならないように保育士会議を毎月行っています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	支援計画の中に取り入れている。	個別活動の時間集団活動の時間と計画を立てて行っていく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	93%	7%	担当や役割分担表を貼りだして都度確認できる。朝礼等で確認している。	朝礼時に参加できないスタッフへの周知等が課題にはなるが参加したスタッフがしっかりと伝えていくように努める。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終礼時等で振り返りを行っている。	児童の振り返り、業務の振り返りを行い記録に残しスタッフが目を通せるようにしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	微細な傷や表情の変化など克明に記録している。	記録に残し、終礼時に次に支援につなげている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	モニタリングを行っている	家族様とこまめに連絡をとりあっている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達管理責任者が参加している	参加した後しっかりと情報共有を行っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	91%	9%	市役所・保健所の方と連携をとっている。	引き続き、こまめに連携をとり、情報共有を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	92%	8%	医療機関、各市の福祉課や保健師と連携している。	引き続き、こまめに連携をとり、情報共有を行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%	主治医指示書を通して連携をしている。	6カ月更新で主治医指示書を通して連携している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	82%	18%	必要時行っている	対応となる児童はいない。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	83%	17%	体調面の事を連携を取りながら行っている。	引き続き、こまめに連携をとり、情報共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%	研修受けていない。	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等での研修はないが保育での研修を受けて、スタッフに周知している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9%	91%	秋祭りのイベント等で交流がある。	イベントごとをする際には交流ができるようにお知らせと配布している。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9%	91%	参加できていない。	どう参加できるのか考えていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	93%	7%	SNS、連絡帳、送迎時の対話により理解を図っている	家族様と話す時には、用件だけではなく様子等の話をよくしている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	55%	45%	送迎時、面談時に行っている。	助言等は行っているがプログラムとしては行っていない。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時変更時に行っている。	今後も積極的に行っていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	家族様からのニーズを聞き取り、スタッフの担当者会議と反映させて考えている。	引き続き、丁寧に説明を行っていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	こまめに家族様と話すときに、困っていること等を聞いて助言等を行っている。	お聞きした内容はきちんと返事をしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	30%	70%	できていない。	イベント後に開催を行っていただけるように努める。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情に対しての問題点や原因を追究し対策を検討。	迅速な対応にいつも心掛けています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月機関紙発行。インスタグラムでも情報発信している。	引き続き発信していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	氏名などの伏字表記	今後も意識し対応していく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	連絡帳や保護者と連絡をとるようにしている。	連絡帳に具体的に記入し連携を図っていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	73%	27%	秋祭り開催時には地域住民も参加できるイベントとして開催している	お知らせを配布しお伝えしたりとしている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	マニュアル会議を2カ月に1回行い、作成見直し等を行っている。	お知らせを配布しお伝えしたりとしている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	1年間の計画を立て行っている。	今後も続けていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	服薬の変更時、面談時薬の処方箋を頂いている。	引き続き、変更時など確認し、情報の共有を行っていく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者様を通じて行っている	今後も記録に残し確認していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	報告書を作成、共有している	今後もスタッフ間で共有していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止委員会を設置し啓発や勉強会を行っている。年2回全体の研修を行っている。	より支援を行っているスタッフ投稿行い、より支援を広げている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	個別支援計画に記載している	引き続き連絡ノートへの記入も行い、丁寧な説明も続けていく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年5月9日

事業所名 オールケア大日(重心外)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	88%	13%	動ける空間と、ゆったり過ごす空間を作っています	友だちと遊ぶスペース、1人で過ごすスペースを作っていきます
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	適切である	配置数を確保した上で、より安全で適切な支援行っています
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・つい立てボードで個人環境を作ったり、スケジュールを視覚化しています ・段差がない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	掃除、整理整頓、環境構成を日々考え、実践しています	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・方針書に年間目標を記載 ・毎月の全体会議で周知・振り返りを行っています	PDCAサイクルについて、更なる周知・徹底をしていきます
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	88%	13%	評価表やアンケート等の貴重なご意見を反映するようにしています	評価表をスタッフに共有し、貴重なご意見を反映できるよう検討していきます
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	75%	25%	ホームページにて公開	結果をスタッフに共有し、より良い環境を整えていきます
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	25%	内部監査を行い、業務改善につなげていきます	第三者による外部評価の実施に努めます
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・専門職(介護福祉士・看護師・保育士等)による研修を定期的に行っています ・必須研修、自己研鑽の研修時間を確保しています	積極的に外部研修を受けていきます
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	担当者会議や保護者アンケート等から現状を把握し支援計画を作成しています	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	88%	13%	使用している	標準化されたアセスメントシートを使用し、スタッフ間で児童の姿や保護者のニーズを共有していきます
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	ガイドラインに沿って1人ひとり支援計画を作成しています	より適切な支援につなげるため、必要に応じて研修を行っています
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	毎日チェック表を確認しながら支援を行っています	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	複数のスタッフが順番に作成し、内容やねらいを共有しています	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	複数のスタッフがアイデアを出して実践しています	研修で学んだ遊びを実践していきます
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	体調や様子を把握・共有しながら支援を行っています	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	88%	13%	1日の活動内容、スタッフの動き等、事前に作成しています	毎日、朝のミーティングの際に支援内容や役割を確認していきます
	18	100%	0%	・毎日の終礼時に振り返りを行っています ・共有内容は議事録に記入しています	引き続き、前日の評価反省を活かしていきます
	19	100%	0%	・チェックリストを活用 ・毎月評価し、次月へ活かしています	
	20	100%	0%	定期的にモニタリング、担当者会議を行い、計画の見直しを行っています	
関係機関や保護者との連携	21	88%	13%	管理者、または児童発達支援管理責任者が参加しています	今後も積極的に参加し、情報共有していきます
	22	75%	25%	保健師、障がい福祉課と連携して行っています	引き続き連携を図ります
	23	100%	0%	各所と連携をとって行っています	引き続き各所と連携を図ります
	24	88%	13%	ご家族との面談を丁寧に行い、主治医の指示書の下、連携を図っています	引き続き連携を図ります
	25	88%	13%	行っています	引き続き情報共有を行い相互理解を図ります
	26	88%	13%	必要に応じて行っています	今後も必要に応じて相互理解を図ります
	27	50%	50%		積極的に研修や会議等に参加していきます
	28	0%	100%	公園で出会った保育園、親子等に挨拶するようにしています	長期休暇時、関わりを持つ機会が設けられるよう検討していきます
	29	13%	88%		情報収集し、参加していきます
	30	100%	0%	連絡帳や送迎時の申し送りの際、児童の様子を丁寧に伝え共有しています	
	31	0%	100%	・面談時に行っています ・必要に応じて、随時相談支援を行っています	相談内容、支援の仕方をスタッフ間で共有していきます
	32	100%	0%	面談時、丁寧に行っています	
	33	100%	0%	・ガイドラインに沿って支援計画を作成しています ・面談時、丁寧な説明を行っています	今後も丁寧な説明を行うと共に、更なる情報共有を図ります

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・面談時間に余裕を持って行っています ・電話等でも丁寧に助言、指導を行っています	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	保護者参加型の行事の際には、保護者同士ゆっくり関われる時間を設けています	保護者同士が関わりを持てる行事を企画・開催していきます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	その都度、迅速かつ丁寧に対応しています	今後も迅速かつ、丁寧に対応していきます
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	63%	38%	ホームページやインスタグラムを活用し、適時情報発信しています	・毎月のおたよりを発行していきます ・引き続き積極的に発信していきます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	個人ファイルは鍵付きの書棚に保管しています	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	丁寧な説明、筆談等の配慮をしています	必要に応じて研修を受けていきます
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	63%	38%	秋祭りや作品展等を開催する際には、地域へ情報発信し参加を歓迎しています	地域参加型の行事の際には、SNSを活用しての発信も積極的に行っていきます
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・各種マニュアルを作成しています ・会議や研修等でスタッフに周知しています	非常勤スタッフや保護者にも周知・活用できるようにしていきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	毎月、避難訓練を行っています	1人ひとり最適な非難の仕方を考え、訓練していきます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	契約時、または必要に応じてその都度状況を確認しています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約時、または必要に応じてその都度状況を確認・対応しています	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットが出た場合、必ず部署内で共有しています	今後も共有し、次につなげていきます
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・虐待防止委員会を設置しています ・啓発ポスターを作製、貼り出しをしています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	時間は随時、連絡帳に記載しています	引き続き連絡帳への記入と共に、十分に配慮していきます

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 9日

事業所名 オールケア大日(重心)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	その日その日でスペースを考えている。	来所される児童が変わるので、安全に過ごせるように前日にスタッフ間で話し合っている。
	2 職員の配置数は適切である	79%	21%	スタッフが見られない時には、他部署からの応援あり。	計画を立てて他部署からの応援を要請して協力してもらっている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	個人の荷物の棚にそれぞれの顔写真を貼るなど所有が	その日その日に過ごすスペースを考えて行っている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	93%	7%	定期的に担当者会議を実施。	方針書を配布。ホール内貼りだし、アンケートで振り返りを行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	91%	9%	保護者様の意見等改善できるように話し合っている。	検討をし家族様に返事等返しているようにする。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HPで公開している	HPで公開している
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	45%	55%	事業所内での業務改善を行っている。	内部監査を行い業務改善につなげている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	92%	8%	全体会議等にて研修を行っている。	内部研修・外部研修の機会を増やし参加している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	モニタリング、面談で保護者のニーズを把握している。	担当者会議、面談を行った後に評価を行い計画につなげている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	85%	15%	アセスメントと見える化を作成している。	アセスメントと見える化を使用しすぐ見てわかりやすくしている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	保育士を中心に立案している。保育士会議を月1行っている。	保育士会議を毎月行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	保育士会議を月1行っている。	同じ内容にならないように保育士会議を毎月行っています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	課題を貼り出し目標を決めている。	平日・休日での過ごし方が違う為計画を立てて行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	支援計画の中に取り入れている。	個別活動の時間集団活動の時間と計画を立てて行っていく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	担当や役割分担表を貼りだして都度確認できる。朝礼等で確認している。	朝礼時に参加できないスタッフへの周知等が課題にはなるが参加したスタッフがしっかりと伝えていくように努める。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終礼時等で振り返りを行っている。	児童の振り返り、業務の振り返りを行い記録に残しスタッフが目を通せるようにしています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	93%	7%	微細な傷や表情の変化など克明に記録している。	記録に残し、終礼時に次に支援につなげている。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	モニタリングを行っている	家族様とこまめに連絡をとりあっている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	91%	9%	一人ひとりの状態に即した計画を立てて支援している。	引き続き、1人1人の特性を、理解し次に繋げていけるよう行っていく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達管理責任者が参加している	参加した後しっかりと情報共有を行っていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校主催の話し合いに参加、ホームページでの情報交換を行っています。	学校との連携を取りながら、引き続き行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	主治医指示書を通して連携をしている。	6カ月更新で主治医指示書を通して連携している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	92%	8%	必要時行っている	対応となる児童はいない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	グループ内の事業所であれば見学や情報共有などは行っているが他事業所とはできていない。	利用する前にもスタッフが介入し把握できるように行っている。移行先にも慣れていけるようにも少し過ごしたりと行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	83%	17%	研修受けていない。	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等での研修はないが保育での研修を受けて、スタッフに周知している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	18%	82%	秋祭りのイベント等で交流がある。	イベントごとをする際には交流ができるようお知らせと配布している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9%	91%	参加できていない	どう参加できるのか考えていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	93%	7%	SNS、連絡帳、送迎時の対話により理解を図っている。	家族様と話す時には、用件だけではなく様子等の話をよくしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	55%	45%	送迎時、面談時に行っている。	助言等は行っているがプログラムとしては行っていない。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時変更時に行っている。	今後も積極的に行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	こまめに家族様と話す時に、困っていること等を聞いて助言等を行っている。	お聞きした内容はきちんと返事をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	55%	45%	できていない。	イベント後に開催を行っていけるように努める。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情に対しての問題点や原因を追究し対策を検討。	迅速な対応にいつも心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月機関紙発行。インスタグラムでも情報発信している。	引き続き発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	氏名などの伏字表記	今後も意識し対応していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	連絡帳や保護者と連絡をとるようにしている。	連絡帳に具体的に記入し連携を図っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	75%	25%	秋祭り開催時には地域住民も参加できるイベントとして開催している	お知らせを配布しお伝えしたりとしている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	マニュアル会議を2カ月に1回行い、作成見直し等行っている。	お知らせを配布しお伝えしたりとしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	1年間の計画を立て行っている。	今後も続けていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止委員会を設置し啓発や勉強会を行っている。年2回全体の研修を行っている。	より支援を行っているスタッフ投稿行い、より支援を広げている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	個別支援計画に記載している	引き続き連絡ノートへの記入も行い、丁寧な説明も続けていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者様を通じて行っている	今後も記録に残し確認していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	報告書を作成、共有している	今後もスタッフ間で共有していく

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年5月9日

事業所名 : オールケア大日 (放課後等デイサービス/重心外)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	88%	13%	動ける空間と、ゆったり過ごす空間を作っています	友だちと遊ぶスペース、1人で過ごすスペースを作っていきます
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	適切である	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・つい立てボードで個人環境を作ったり、スケジュールを視覚化しています ・段差がない	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	75%	25%	・方針書に年間目標を記載 ・毎月の全体会議で周知・振り返りを行っています	PDCAサイクルについて、更なる周知・徹底をしていきます
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	評価表やアンケート等の貴重なご意見を反映するようにしています	評価表をスタッフに共有し、貴重なご意見を反映できるよう検討していきます
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	88%	13%	ホームページに公開しています	結果をスタッフに共有し、より良い環境を作っていきます
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	88%	13%	内部監査を行い、業務改善につなげています	第三者による外部評価の実施に努めます
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	88%	13%	・専門職(介護福祉士・看護師・保育士等)による研修を定期的に行っています ・必須研修、自己研鑽の研修時間を確保しています	積極的に外部研修を受けていきます
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	担当者会議や保護者アンケート等から現状を把握し、支援計画を作成しています	標準化されたアセスメントシートを使用し、スタッフ間で児童の姿や保護者のニーズを共有していきます
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	使用している	標準化されたアセスメントシートを使用し、スタッフ間で児童の姿や保護者のニーズを
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	複数のスタッフが順番に作成し、内容やねらいを共有しています	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	88%	13%	複数のスタッフがアイデアを出して実践しています	研修で学んだ遊びを実践していきます
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・個別支援に沿って1対1で支援しています ・土日、長期休暇には、戸外に出て様々な経験ができる取り組みをしています	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	88%	13%	保護者や学校との申し送りをもとに、体調や様子を把握・共有しながら支援を行っています	1人ひとりの体調把握に努め、情報共有しながら支援を行っていきます
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	1日の活動内容、スタッフの動き等、事前に作成しています	毎日、朝のミーティングの際に支援内容や役割を確認していきます
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・毎日の終礼時に振り返りを行っています ・共有内容は議事録に記入しています	・引き続き、前日の評価反省を活かしていきます
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・チェックリストを活用 ・毎月評価し、次月へ活かしています	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的にモニタリング、担当者会議を行い、計画の見直しを行っています		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	ガイドラインに沿って、1人ひとりの支援計画を作成しています	より適切な支援につなげるため、研修を行っていきます	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	管理者、または児童発達支援管理責任者が参加しています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・送迎時には学校と必ず引継ぎを行っています ・学校主催の会議等に参加しています ・ホームページを確認、共有しています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	各所と連携をとって行っています	引き続き各所と連携を図ります
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	88%	13%	必要に応じて行っています	引き続き情報共有・相互理解に努め、連携を図っていきます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	88%	13%	グループ内の事業所の場合、卒業までに見学や体験の場を設けると共に、情報共有を密に行っています	引き続き、情報の提供をしていきます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%	相談支援員との連携をとっています	今後も積極的に研修や会議等に参加していきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25%	75%	できる限り戸外に出かけ、道行く人や公園で出会った親子等に挨拶するようにしています	土日や長期休暇時、関わりをを持つ機会が設けられるよう検討していきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	25%	75%	管理者等が参加しています	情報収集し、引き続き参加していきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時の申し送りの際、児童の様子を丁寧に伝え共有しています	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	25%	75%	・面談時に行っています ・必要に応じて、随時相談支援を行っています	相談内容、支援の仕方をスタッフ間で共有していきます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・面談時、丁寧にしています	面談時、丁寧に説明を行っています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・面談時間に余裕を持って行っています ・電話等でも丁寧に助言、指導を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	38%	63%	保護者参加型の行事の際には、保護者同士ゆっくりに関わられる時間を設けています	保護者同士が関わりを持てる行事を企画・開催していきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	その都度、迅速かつ丁寧に対応しています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	63%	38%	ホームページやInstagramを活用し、適時情報発信しています	・毎月のおたよりを発行していきます ・SNS等も活用し、引き続き積極的に発信していきます
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人ファイルは鍵付きの書棚に保管しています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	丁寧な説明、筆談等の配慮をしています	必要に応じて研修を受けていきます
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	88%	13%	秋祭りや作品展等を開催する際には、地域へ情報発信し参加を歓迎しています	地域参加型の行事の際には、SNSを活用しての発信も積極的に行っていきます

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	・各種マニュアルを作成しています ・会議や研修等でスタッフに周知しています	非常勤スタッフや保護者にも周知、活用できるようにしていきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・毎月、避難訓練を行っています	1人ひとり最適な非難の仕方を考え、訓練していきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・虐待防止委員会を設置しています ・啓発ポスターを作製、貼り出しをしています	今後も定期的に研修を行っていきます
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	時間は随時、連絡帳に記載しています	引き続き連絡帳への記入と共に、十分に配慮していきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約時、または必要に応じてその都度状況を確認・対応しています	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	88%	13%	ヒヤリハットが出た場合、必ず部署内で共有しています	引き続き共有し、次につなげていきます